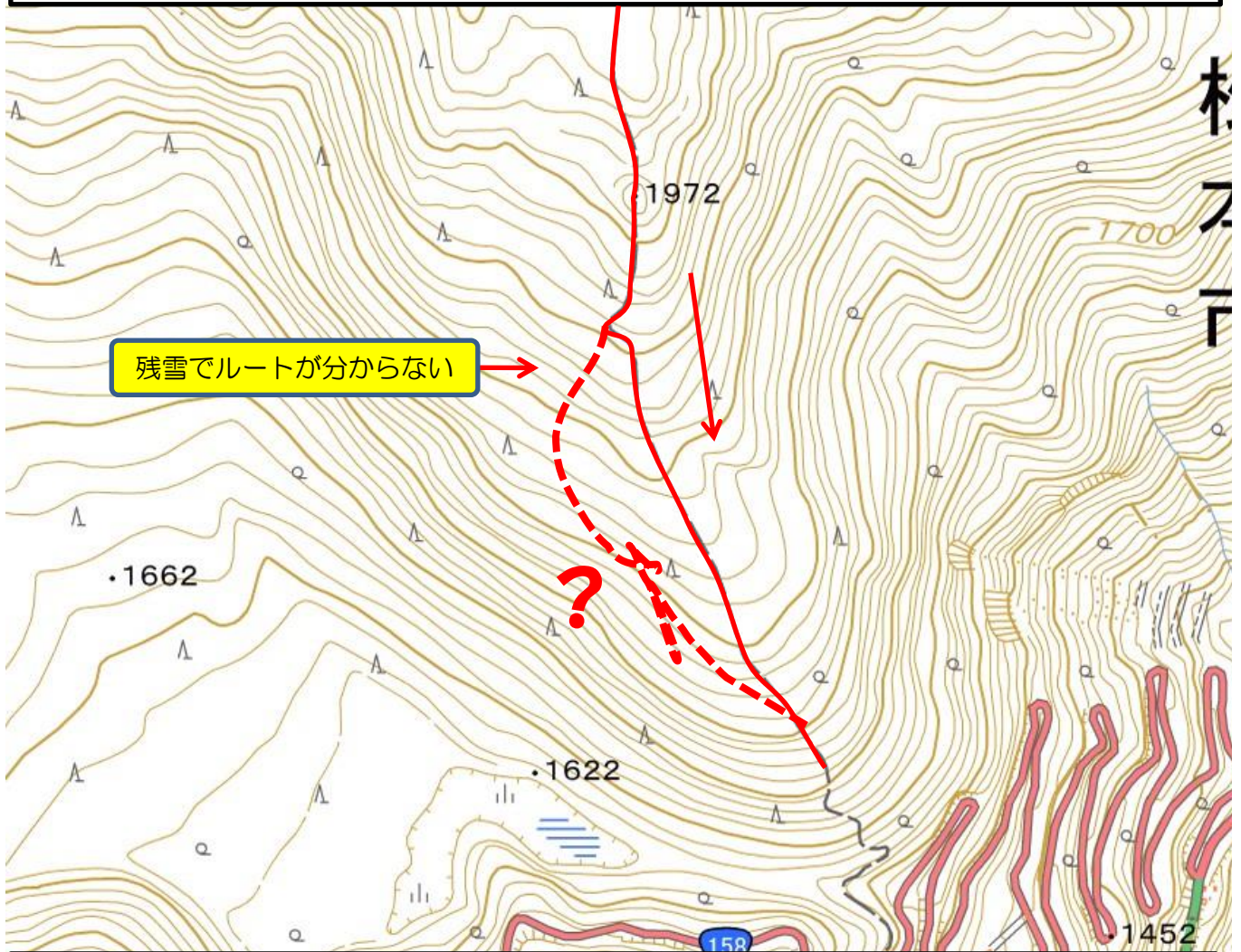


## 焼岳道迷い(2018年4月)

残雪期の登山道は雪で見えない。最初の1人が誤って踏み跡を作り、20人の集団で道迷いした。偶然GPSを持っていた若者に先導してもらい元のルートに戻ることができた。



## 解説

残雪期の下りは、ルートが分かりづらい。登りも下りも同じルートをたどっているのに、道迷いの確率は少なくなるのだが、残雪期はそれを許さない。

地図上の道は尾根を辿るが、雪がついていると、ついつい斜面に対し垂直に降りてしまいがちになる。

今回の道迷いは、20人の集団。先頭以外は道迷いに神経質にならず、前の人にただ付いていくだけの人が多いので、常に自分が先頭にいる気持ちで行動してほしい。

偶然、GPSを持った方が誘導してくれて大事には至らなかったが、地図アプリを使ってもよいので現在位置を確認する習慣を身につけてほしい。